

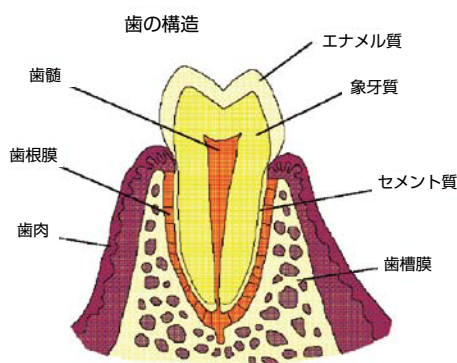
## 第4章 歯・口のけがに関する 基礎知識及び参考資料

I	歯・口のけがや障害を理解するために .....	82
II	学校の管理下における歯・口の けがや障害の現状.....	89
III	マウスガード使用による歯・口の けがの防止の取組事例.....	100



# I 歯・口のけがや障害を理解するために

## 1 歯と歯周組織の構造について



(図1)

歯は、歯冠部と言われる歯肉から出ている部分と歯肉に覆われている歯根部の2つに分けられ、エナメル質、象牙質、歯髄、セメント質からなる。また歯を支えている部分は、歯周組織と呼ばれ、歯肉、歯槽骨、歯根膜などの構造物がある。歯冠部と歯根部の境目は歯頸部と呼ばれる。(図1)

### ①エナメル質

歯冠表面を覆っており、体の中で最も硬い組織である。その約96%がリン酸カルシウム的一种であるヒドロキシアパタイトを主成分とする無機質からな

り、歯に対する熱刺激や電気刺激から歯髄を保護する役割を持っている。

### ②象牙質

歯の主体をなす部分で、70%がヒドロキシアパタイトを主成分とする無機質、20%がコラーゲン繊維などの有機物、10%が水分である。象牙質全体には象牙細管という直径0.8～2.2マイクロメートルの管が走っており、この中には象牙芽細胞の突起が含まれている。このため、エナメル質の3/4程度の硬さとなっている。

### ③歯髄

歯の内部に存在する組織であり、俗に「歯の神経」と言われ、神経や血管が存在する。歯の感覚、特に象牙細管を通じての象牙質の知覚を司っている。歯髄に対する刺激や感覚は全て疼痛となって現れる。

また、機械的、温熱的、化学的、細菌などの刺激に対して2次象牙質を形成し、刺激を遮断する。細菌感染などによる炎症に対して免疫反応を働かせるなどの働きがある。

歯髄がある歯の空洞は歯髄腔といわれ、歯の中央部に存在し歯の外形とほぼ一致した形となっており、歯根部では根管とも呼ばれている。

### ④セメント質

歯根部象牙質外表を覆う硬組織のことで約60%が無機質、25%が有機物、15%が水からできている。セメント質と歯槽骨は歯根膜によってつながれている。

セメント質の根の先側1/3には、セメント細胞が存在する為、一度吸収されたのちでもセメント質は再生が可能である。

### ⑤歯肉

口腔粘膜の一部で、歯根を囲む部分を指す。健康で正常な歯肉は、ピンク色ないし淡赤色で、歯にしっかりとついている。また、健康な歯肉の表面にはステッピングと呼ばれる小さな窪みが多数存在する。



## ⑥歯根膜

歯槽骨に歯を植立する組織であり、その主な構成要素はコラーゲンの太い束からなる歯根膜線維である。歯の植立作用ばかりでなく、<sup>か</sup>咬み合う歯との接触・位置関係を調整するクッションの役割を果たし、歯の咀嚼機能をスムーズにする作用もある。

歯根膜のあるところは、歯根膜腔と言う。

## ⑦歯槽骨

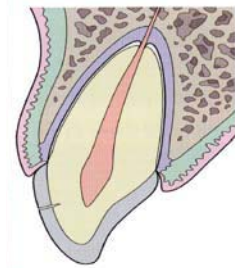
顎骨の骨体部と歯を結ぶ骨で歯槽突起とも言い、歯が植わっている部分を指す。歯槽骨の「歯槽」とは、歯を入れ置く槽という意味である。歯槽骨は歯根膜腔に接する固有歯槽骨とその外側の支持歯槽骨に分けられる。支持歯槽骨は、外側の皮質骨と海綿骨（固有歯槽骨と皮質板との間）に分けられる。皮質板は上顎骨より下顎骨の方が厚く、上顎の歯槽骨より下顎歯槽骨の方が丈夫である。

# 2 歯の破折・歯の脱臼について

## (1) 歯の破折

歯の破折は、歯冠の亀裂、歯冠破折、歯冠歯根破折、歯根破折に分類できる。

### ①歯冠の亀裂

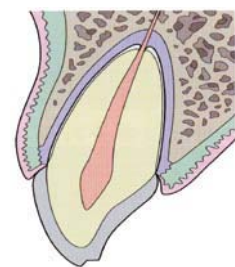


(図2) 亀裂

歯の破損はなく、エナメル質のみの亀裂か不完全破折のもの(図2)

### ②歯冠破折

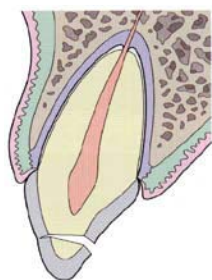
歯冠破折には以下の3つがある。



(図3) エナメル質破折

#### ○エナメル質破折

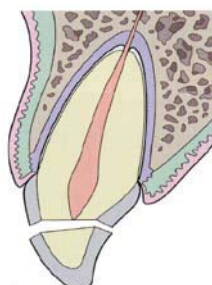
エナメル質に局限した破折であり、痛みなどの症状がほとんどないもの(図3)



(図4) 単純歯冠破折

○単純歯冠破折

エナメル質と象牙質を含む破折であり、冷たい物などの温度などに反応するもの(図4)



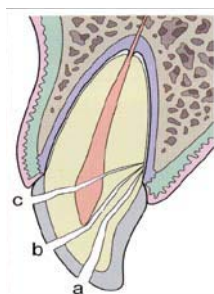
(図5) 複雑歯冠破折

○複雑歯冠破折

エナメル質と象牙質および歯髄腔を含み、歯髄に達する破折である。歯冠の着色や出血を認めるもの(図5)

③歯冠歯根破折 (図6)

歯冠歯根破折は破折がエナメル質・象牙質・セメント質すべてにわたる破折であり、破折片が歯根膜に付着しているため、動かすと痛みを伴う。



(図6) 歯冠歯根破折の種類を現す模式図

a,b: 単純歯冠歯根破折  
c: 複雑歯冠歯根破折

○単純歯冠歯根破折

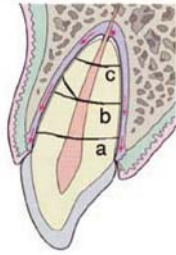
歯髄腔を含まない破折、セメント質での破折は歯槽骨にわずかに入っていることが多く、歯周組織からの出血は少ないことが多い。

○複雑歯冠歯根破折

歯髄腔を含み、歯髄に達する破折である。セメント質の破折位置は様々であり、歯髄と歯周組織からの出血がみられる。



#### ④ 歯根破折



(図7) 歯冠歯根破折の種類を現す模式図

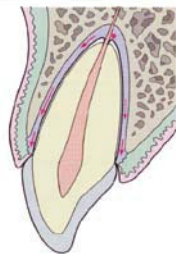
a,b : 単純歯冠歯根破折  
c : 複雑歯冠歯根破折

歯根破折は、歯根部での破折であり、通常、歯の動揺、疼痛、出血がみられる。破折の部位により治療内容が変わってくる。おおよそ根尖側 1 / 3 (図 7c) 中央 1 / 3 (図 7b) 歯頸側 1 / 3 (図 7a) に分けられる。

## (2) 歯の脱臼

歯の脱臼は、歯根膜の損傷状態により、完全脱臼と不完全脱臼に分けられる。一般に脱臼のみが発生することはほとんど無く、顔面や口腔粘膜などの損傷、歯の破折、歯槽骨骨折、顎骨骨折などを伴う。

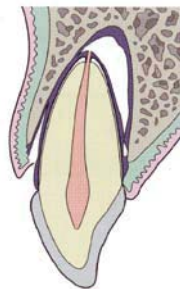
#### ① 不完全脱臼



(図8) 不完全脱臼

外力により、歯根膜の一部が断裂したものであり、亜脱臼とも言う。歯は弛緩、動揺、挺出、傾斜などとなる。(図8)

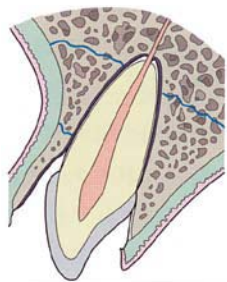
#### ② 完全脱臼



(図9) 完全脱臼

歯根膜が完全に断裂した状態であり、歯は脱落した状態である。(図9)

### ③ 陥入



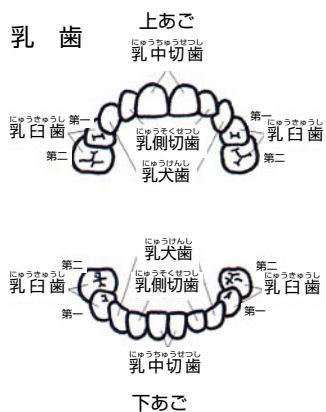
(図 10) 陥入

歯根膜が完全に断裂し、歯槽骨に埋入した状態であり、圧入、埋入とも言う。

(図 10)

## 3 歯科の専門用語の解説

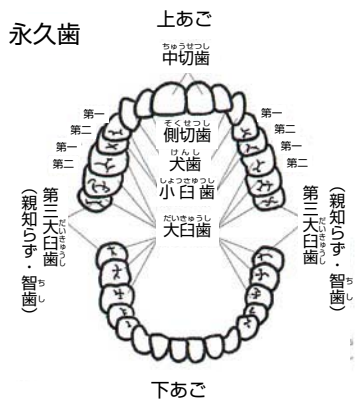
### ① 乳歯



(図 11)

乳歯は、乳中切歯、乳側切歯、乳犬歯、第一乳臼歯、第二乳臼歯の 5 種あり、上下左右併せて 20 本である。(図 11)

### ② 永久歯

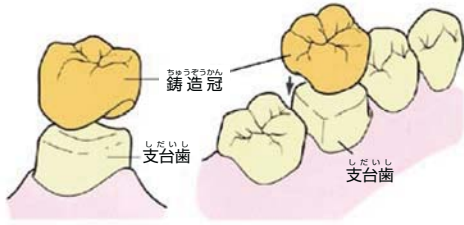


(図 12)

永久歯は、中切歯、側切歯、犬歯（糸切り歯、尖頭歯）、第一、第二小臼歯、第一（6 歳臼歯）、第二、第三大臼歯（親知らず、智歯）の 8 種類であり、上下左右併せて 32 本である。(図 12)



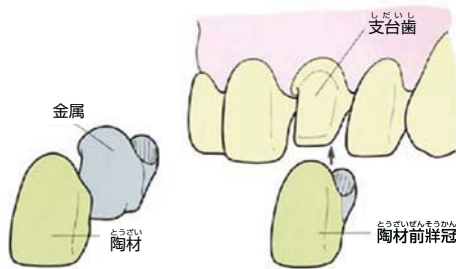
### ③全部鑄造冠



(図 13)

エナメル質に相当する部分を金属で鑄造して作製したもの。広範囲に及ぶ蝕や歯髄処置を行った歯に対して用いられる。金属色なので、臼歯部で使用される場合が多い。(図 13)

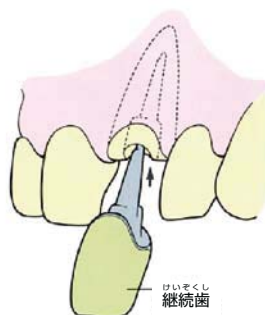
### ④前装鑄造冠



(図 14)

主に前歯部で用いられ、鑄造冠の外から見える部分を陶材（ポーセレン、セラミック）や樹脂（レジン）でカバーし、審美的な回復を行うもの。(図 14)

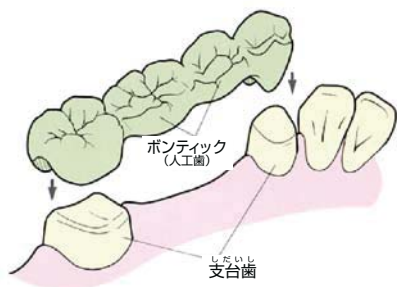
### ⑤歯冠継続歯



(図 15)

ポストクラウンとも言われ、根管内に差し込むような形で接着するため「差し歯」の語源となっている。根管が割れやすい、歯と歯冠継続歯との間に隙間ができやすいため、現在ではあまり使われていない。(図 15)

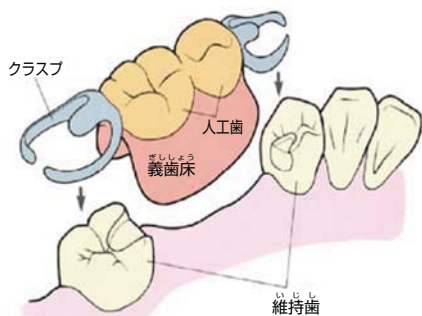
### ⑥ 橋義歯



(図 16)

一般にブリッジと言われ、義歯のひとつである。歯が抜けた前後の歯を削りそれを支台とし、橋渡しをして咬合状態を回復する、固定性義歯であるため、装着感が良いが、前後の歯に負担がかかるため、多数の歯が抜けている場合には用いることはできない。(図 16)

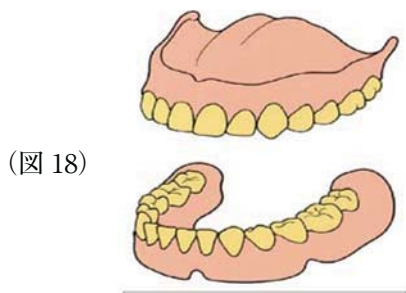
### ⑦ 部分床義歯



(図 17)

部分入れ歯、義歯をとめる「クラスプ」と陶材や樹脂でできた「歯」と粘膜面につく「床」の部分からなる。1、2本～多数の歯が抜けている場合にまで広い範囲で適応できるが、異物感やクラスプが目立つなどの欠点がある。(図 17)

### ⑧ 総義歯



(図 18)

総入れ歯 (図 18)

### ⑨ インプラント

歯が抜けてしまった場合、顎骨内にチタンなどで出来た人工の歯根を埋めこみ、その上に歯冠を装着して咬合を回復する。

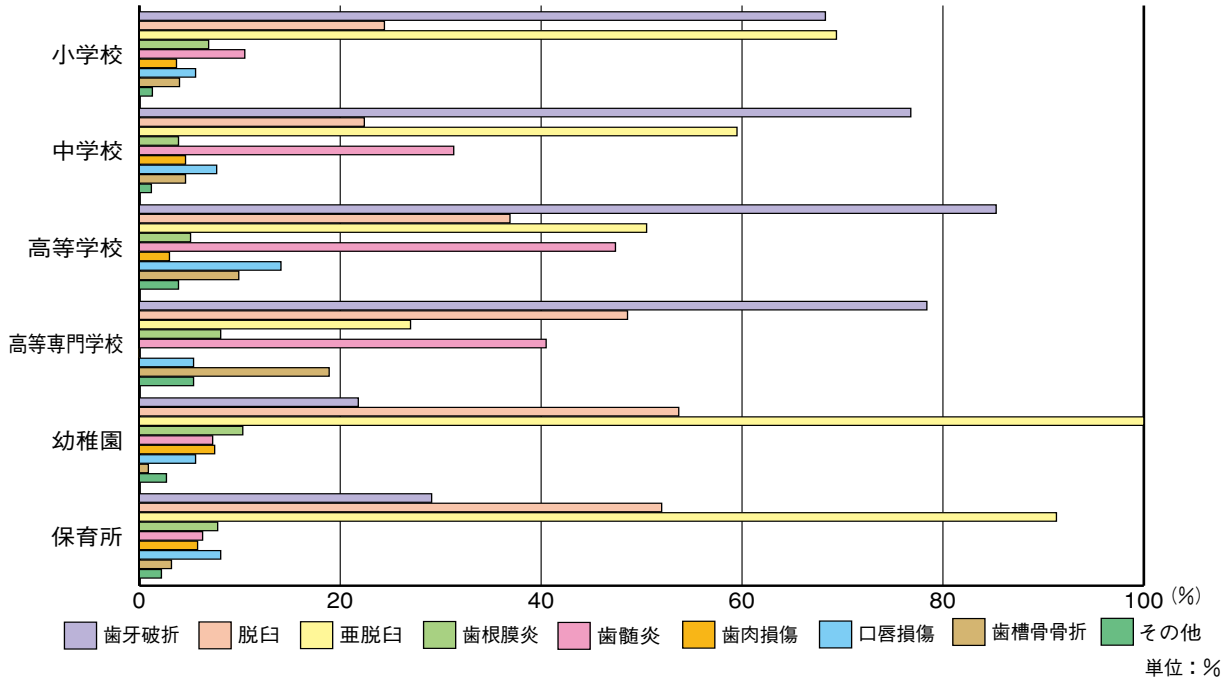




## Ⅱ 学校の管理下における歯・口のけがや障害の現状

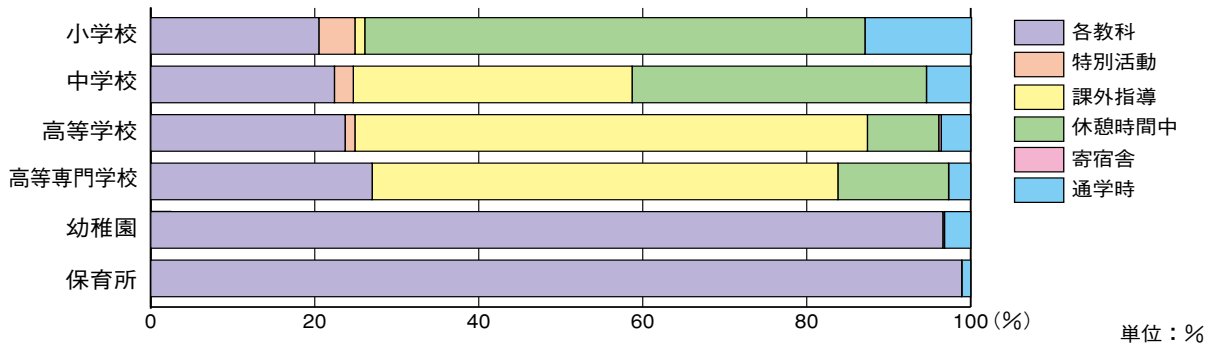
### 1 学校の管理下における歯の傷害(けが)の現状

傷病名別の割合



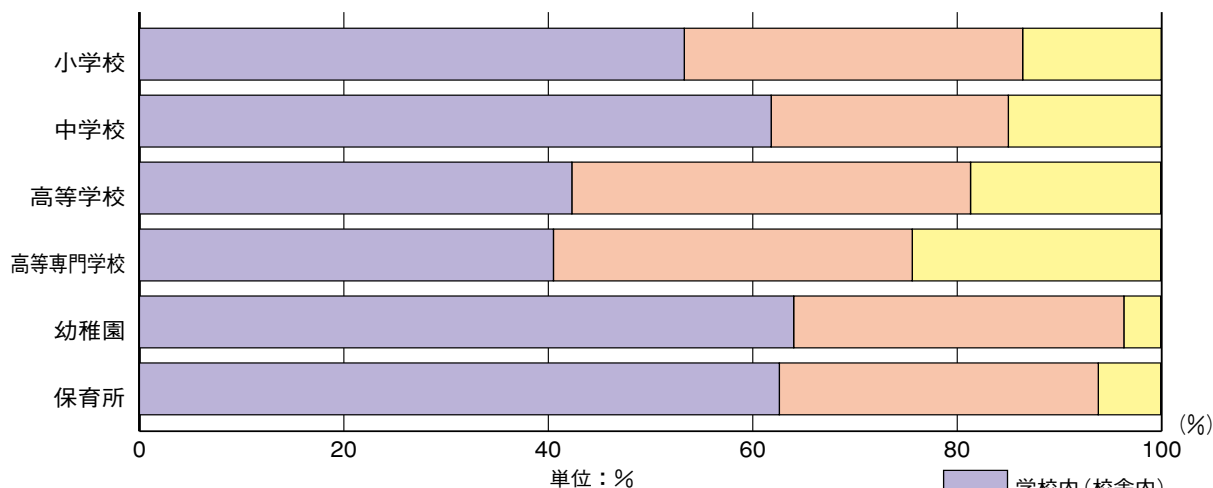
※負傷した歯に対して複数の傷病名が付されている場合がある。

場合別の傷害発生割合



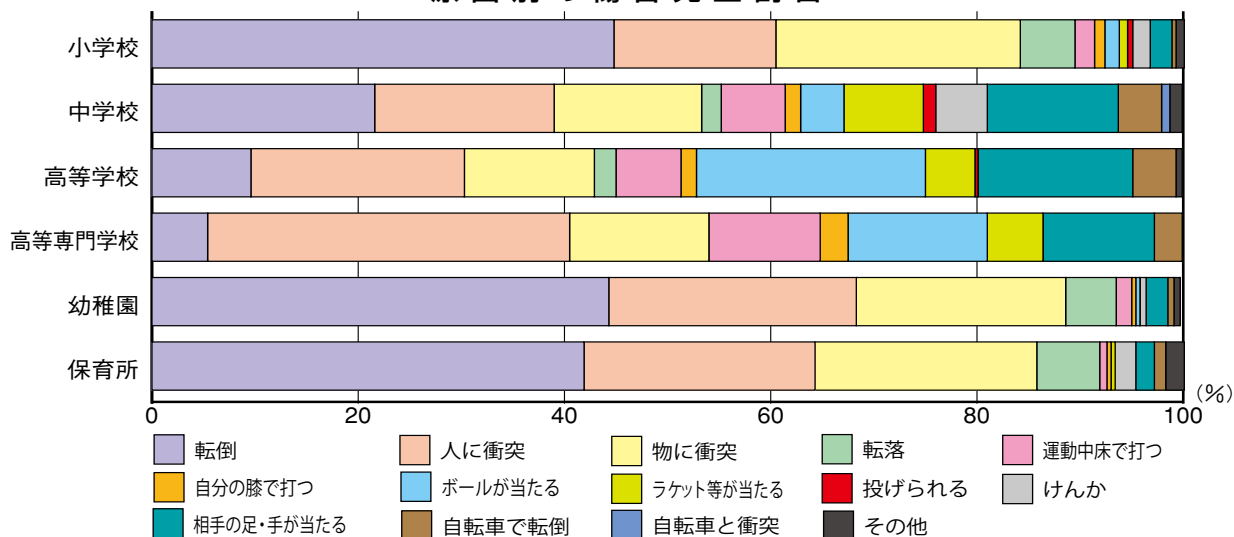
学校種別	各教科	特別活動	課外指導	休憩時間中	寄宿舍	通学時
小学校	20.5	4.4	1.2	61.0	0.0	13.0
中学校	22.4	2.3	34.0	35.9	0.0	5.4
高等学校	23.7	1.2	62.5	8.7	0.3	3.6
高等専門学校	27.0	0.0	56.8	13.5	0.0	2.7
幼稚園	96.6	0.0	0.0	0.0	0.2	3.2
保育所	98.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1

### 場所別の傷害発生割合



学校種別	学校内		学校外
	校舎内	校舎外	
小学校	53.3	33.1	13.4
中学校	61.8	23.2	15.1
高等学校	42.3	39.0	18.6
高等専門学校	40.5	35.1	24.3
幼稚園	64.0	32.3	3.6
保育所	62.6	31.2	6.1

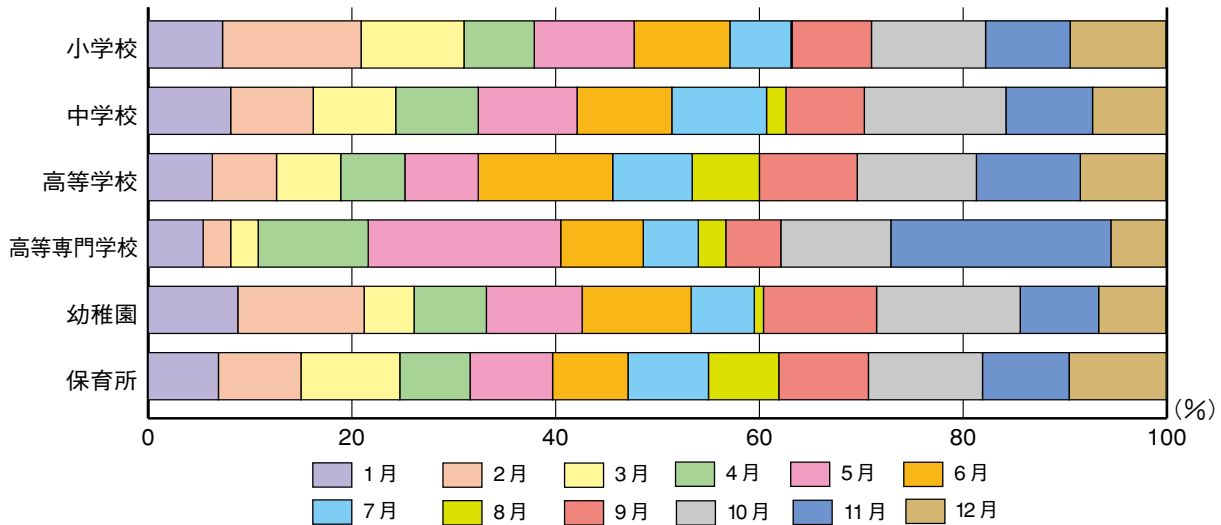
### 原因別の傷害発生割合



学校種別	転倒	人に衝突	物に衝突	転落	運動中床で打つ	自分の膝で打つ	ボールが当たる	ラケット等が当たる	投げられる	けんか	相手の足・手が当たる	自転車で転倒	自転車と衝突	その他
小学校	44.8	15.7	23.7	5.3	1.9	1.0	1.4	0.8	0.5	1.7	2.1	0.4	0.0	0.8
中学校	21.6	17.4	14.3	1.9	6.2	1.5	4.2	7.7	1.2	5.0	12.7	4.2	0.8	1.2
高等学校	9.6	20.7	12.6	2.1	6.3	1.5	22.2	4.8	0.3	0.0	15.0	4.2	0.0	0.6
高等専門学校	5.4	35.1	13.5	0.0	10.8	2.7	13.5	5.4	0.0	0.0	10.8	2.7	0.0	0.0
幼稚園	44.3	24.0	20.3	4.9	1.5	0.4	0.4	0.0	0.0	0.6	2.1	0.6	0.0	0.6
保育所	41.9	22.4	21.5	6.1	0.7	0.4	0.0	0.4	0.0	2.0	1.8	1.1	0.0	1.8



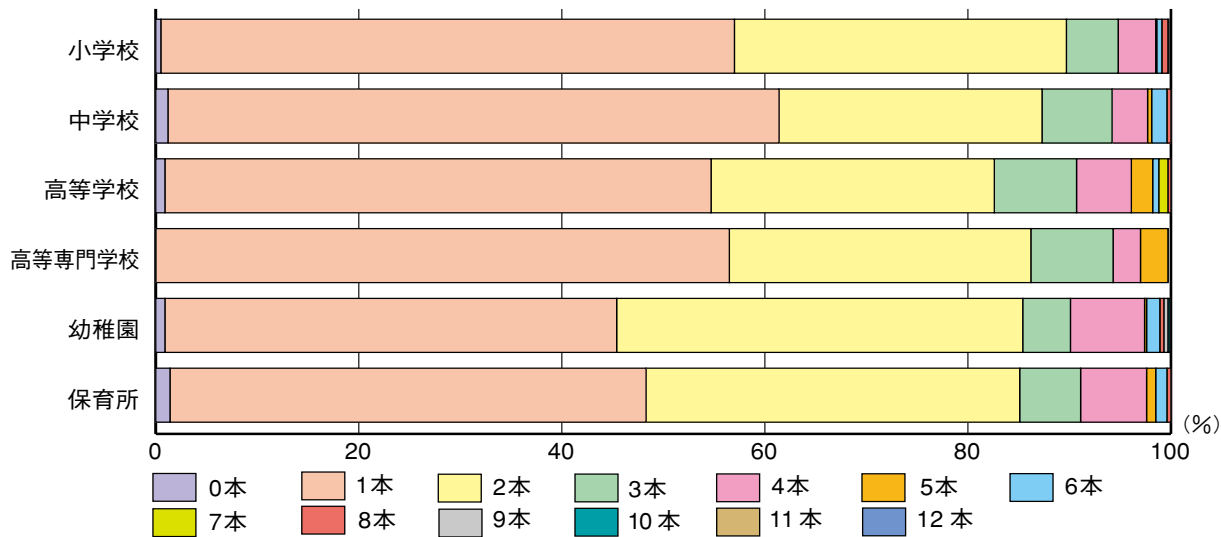
### 月別の傷害発生割合



単位：%

学校種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
小学校	7.3	13.6	10.1	6.9	9.8	9.4	6.0	0.1	7.8	11.2	8.3	9.4
中学校	8.1	8.1	8.1	8.1	9.7	9.3	9.3	1.9	7.7	13.9	8.5	7.3
高等学校	6.3	6.3	6.3	6.3	7.2	13.2	7.8	6.6	9.6	11.7	10.2	8.4
高等専門学校	5.4	2.7	2.7	10.8	18.9	8.1	5.4	2.7	5.4	10.8	21.6	5.4
幼稚園	8.8	12.4	4.9	7.1	9.4	10.7	6.2	0.9	11.1	14.1	7.7	6.6
保育所	6.9	8.1	9.7	6.9	8.1	7.4	7.9	6.9	8.8	11.2	8.5	9.6

### 傷害本数の割合



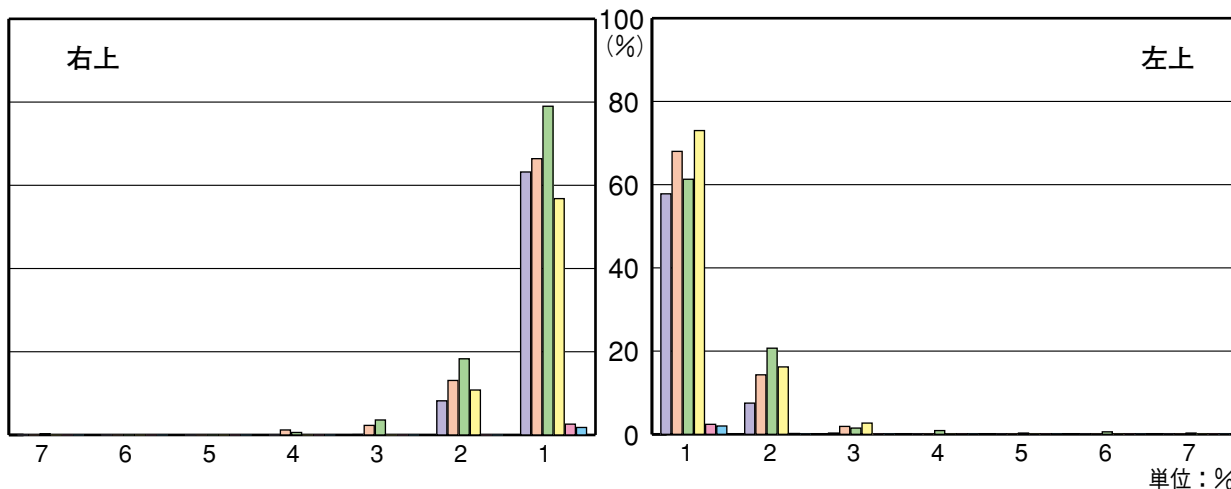
単位：%

学校種別	0本	1本	2本	3本	4本	5本	6本	7本	8本	9本	10本	11本	12本
小学校	0.5	56.5	32.7	5.1	3.7	0.1	0.5	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.1
中学校	1.2	60.2	25.9	6.9	3.5	0.4	1.5	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
高等学校	0.9	53.8	27.9	8.1	5.4	2.1	0.6	0.9	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
高等専門学校	0.0	56.8	29.7	8.1	2.7	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
幼稚園	0.9	44.5	40.0	4.7	7.3	0.2	1.3	0.0	0.4	0.4	0.2	0.0	0.0
保育所	1.4	46.9	36.8	6.0	6.5	0.9	1.1	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0

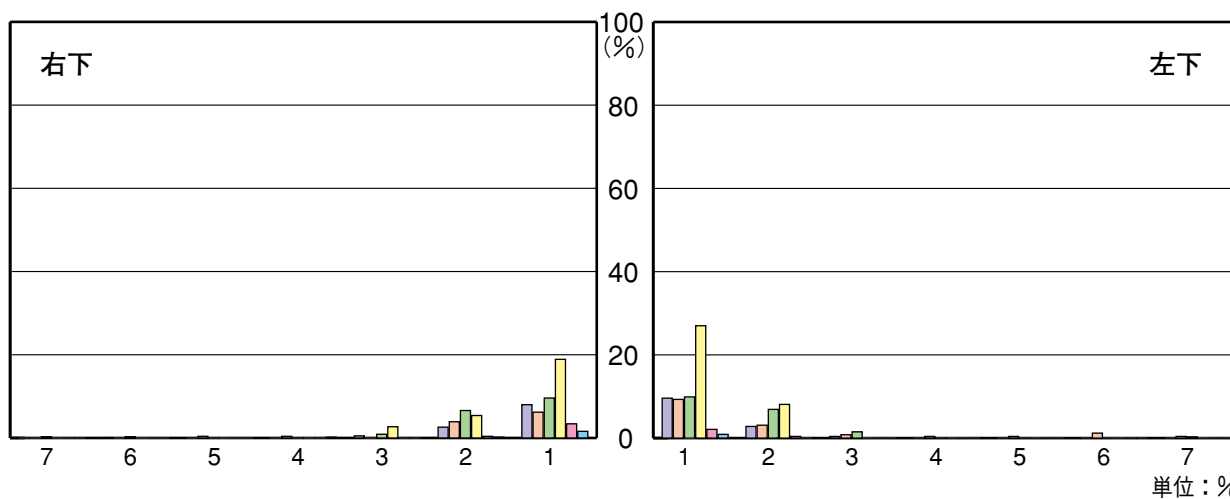


### 永久歯の受傷割合

■ 小学校    ■ 中学校    ■ 高等学校  
■ 高等専門学校    ■ 幼稚園    ■ 保育所



学校種別	右上							左上						
	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7
小学校	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	8.2	63.2	57.8	7.5	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
中学校	0.0	0.0	0.0	1.2	2.3	13.1	66.4	68.0	14.3	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0
高等学校	0.3	0.0	0.0	0.6	3.6	18.3	79.0	61.3	20.7	1.5	0.9	0.3	0.6	0.3
高等専門学校	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.8	56.8	73.0	16.2	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0
幼稚園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	2.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保育所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

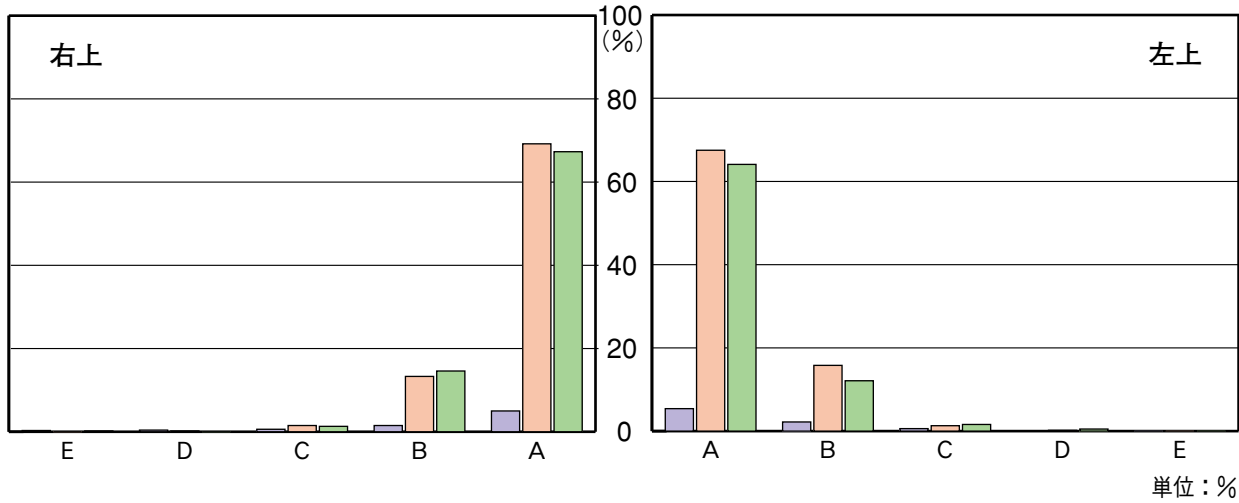


学校種別	右下							左下						
	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7
小学校	0.0	0.1	0.0	0.0	0.5	2.6	8.0	9.6	2.8	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
中学校	0.0	0.0	0.4	0.4	0.0	3.9	6.2	9.3	3.1	0.8	0.4	0.4	1.2	0.4
高等学校	0.3	0.3	0.0	0.0	0.9	6.6	9.6	9.9	6.9	1.5	0.0	0.0	0.0	0.3
高等専門学校	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	5.4	18.9	27.0	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
幼稚園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	3.4	2.1	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保育所	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	1.6	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

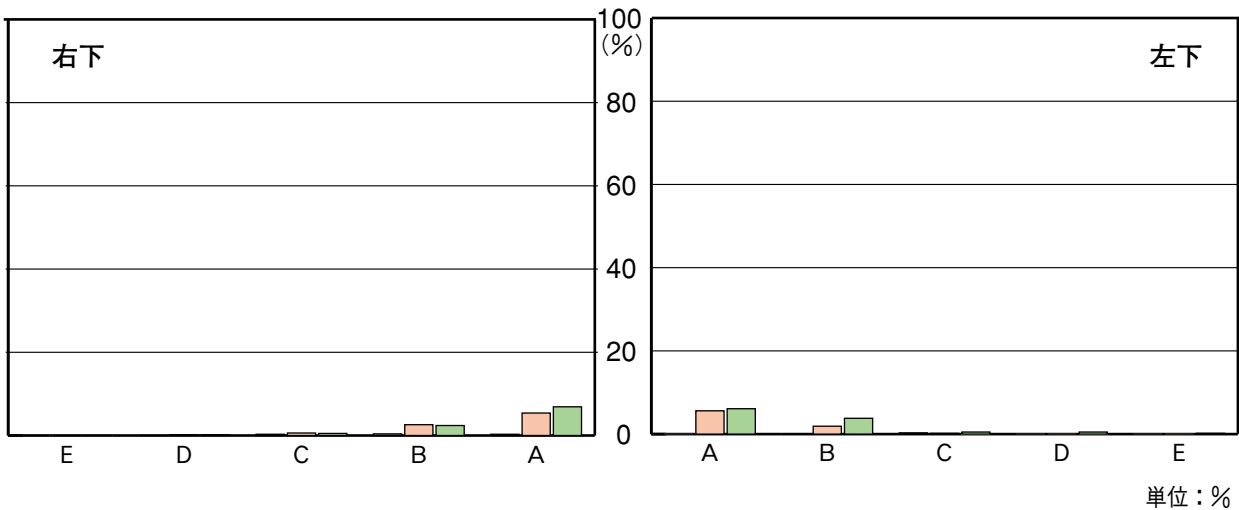


### 乳歯の受傷割合

■ 小学校 ■ 幼稚園 ■ 保育所



学校種別	右上					左上				
	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E
小学校	0.3	0.4	0.6	1.5	5.0	5.4	2.2	0.6	0.1	0.0
幼稚園	0.0	0.2	1.5	13.3	69.2	67.5	15.8	1.3	0.2	0.0
保育所	0.2	0.0	1.3	14.6	67.3	64.1	12.1	1.6	0.5	0.0



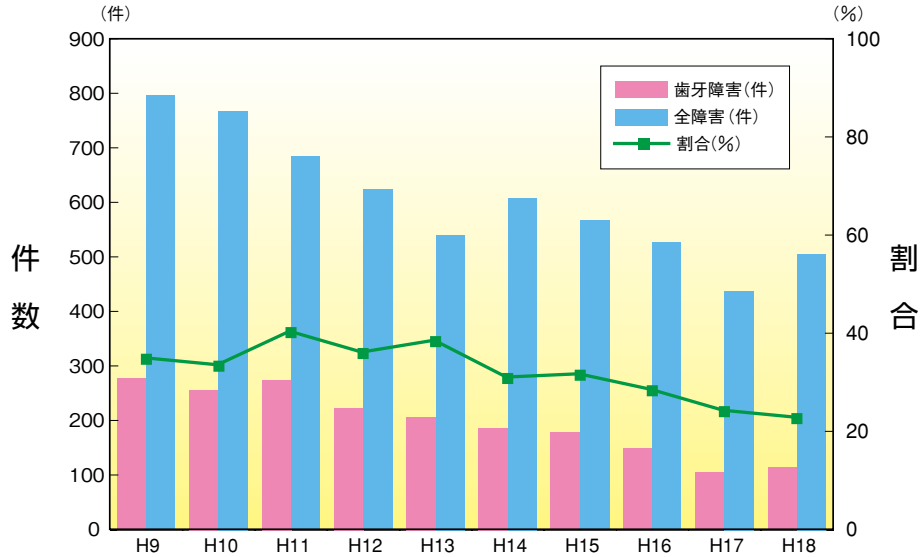
学校種別	右下					左下				
	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E
小学校	0.0	0.0	0.3	0.4	0.3	0.0	0.1	0.3	0.0	0.0
幼稚園	0.0	0.2	0.6	2.6	5.4	5.6	1.9	0.2	0.0	0.0
保育所	0.0	0.2	0.5	2.4	6.9	6.1	3.8	0.5	0.5	0.2



## 2 学校の管理下における歯の障害事故の推移

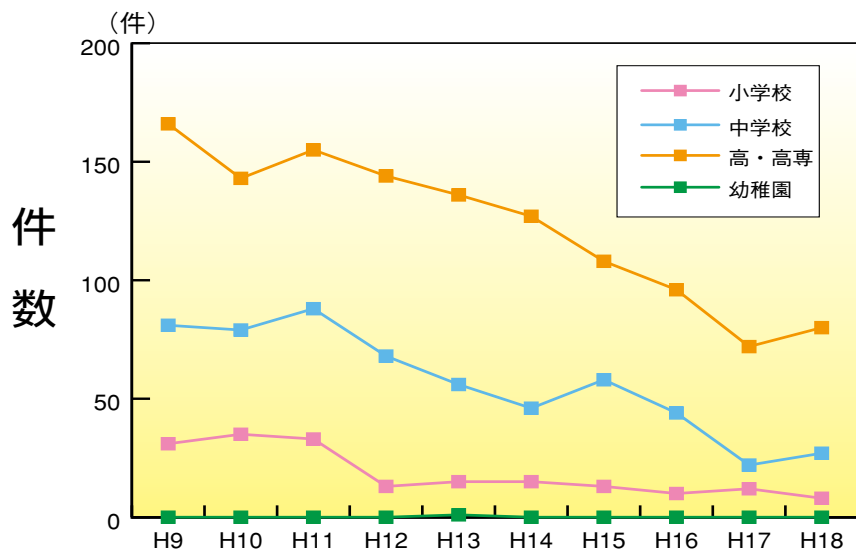
※日本スポーツ振興センター統計による

### (1) 全障害における歯の障害の割合の推移 (10年間)



年度	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
歯牙障害(件)	278	257	276	225	208	188	179	150	106	115
全障害(件)	798	769	686	625	542	609	568	528	439	506
割合(%)	34.8	33.4	40.2	36.0	38.4	30.9	31.5	28.4	24.1	22.7

### (2) 学校種別歯の障害の推移 (10年間)



年度	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
小学校	31	35	33	13	15	15	13	10	12	8
中学校	81	79	88	68	56	46	58	44	22	27
高等学校・高等専門学校	166	143	155	144	136	127	108	96	72	80
幼稚園	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0



### 3 歯の障害事故の具体的事例

		災害発生の状況
事例 1	小 6 年・女	理科の授業中、虫探しに向かおうと走って、地面のくぼみに足を取られ転倒した際、ちょうどその場にヒューム管（下水道管）があり口に当たって負傷した。
事例 2	小 5 年・男	体育の授業中、とび前転（マット運動）の練習をしていた。助走をつけ前転をし終わった際に、右膝に口をぶつけ前歯を負傷した。
事例 3	小 2 年・女	昼清掃のため清掃場所へ向かう際、校舎裏の側溝の蓋の上を走っていて転倒し、顎から鼻にかけて強打した。
事例 4	小 6 年・女	清掃時間中、床の雑巾がけをしていた際、他の児童と接触し、前につんのめり、床で前歯を強打した。
事例 5	小 6 年・男	プール清掃中、デッキブラシで作業を行っていた際、ブラシを持ったまま滑ってしまい前に倒れて前歯部分を強打した。
事例 6	小 2 年・男	休憩時間中、友達と追いかっこをしている際、転倒し前歯を床にぶつけた。
事例 7	小 5 年・男	休憩時間中、鬼ごっこをしていたところ、排水溝につまずき転倒した。手を付いて支えようとしたが、体を支えきれずコンクリートに鼻と前歯を強くぶつけた。
事例 8	小 5 年・女	休憩時間中、すべり台を下から登っていて、バランスを崩し、顔面をすべり台に強く打ちつけた。
事例 9	小 4 年・男	昼食時休憩時間中、クラスの友達とすべり台で鬼ごっこやボールころがしをして遊んでいた際、斜面に裸足で立ちジャンプしてボールを避けようとして転倒し、手摺りで前歯を打った。
事例 10	小 5 年・男	昼食時休憩時間中、同級生と鬼ごっこをしていた際、逃げていた本児童と他の児童が偶然 1 台の車の右側と左側を走っていた。高さのある車のかげで、お互いを認識できずいたため、車の前に出たところで勢いよく衝突した。本児童は背が高いため、相手の左額に歯を強くぶつけた。
事例 11	小 3 年・男	朝、登校して、上靴を履かないまま教室へ入り、自分で滑って転び、手に持っていたペットボトルのキャップの部分で前歯（永久歯）を打撲する。その直後打撲した上の前歯 2 本のうち 1 本が根元から抜ける。
事例 12	小 5 年・男	寄宿舎で、余暇時間に、職員が本児童の手を持ち、軽く力を加えて離し、駆け足をさせるという遊びをしていた。5 回目の駆け足をして遊んでいた際、急に体を反転させ、その勢いで足を滑らせ、うつ伏せに倒れて、歯を床に打ちつけた。
事例 13	小 6 年・女	徒歩で登校中、舗装されていない道でつまずき転倒した際、顔面を石に強打し、前歯を負傷した。
事例 14	小 6 年・女	妹と 2 人で自転車で登校中、下り坂でスピードを上げた際、本児童のハンドルと妹の自転車のハンドルが接触し、バランスを崩して転倒し、口を打ってしまい、上顎前歯 2 本が脱落した。
事例 15	小 3 年・男	下校中、急ぎ足で、道路左端を歩いていたが、ガードレールが切れている側溝に誤って転落した。そのとき、前歯が何かに当たった。
事例 16	小 3 年・男	下校中、通学路を走っていたところ、上級生が走って追い抜こうとし、本児童にぶつかった。その際、転倒し、顔面を地面に強打した。手に荷物を持っていたため、手を着くことができなかった。
事例 17	中 1 年・男	体育の授業中、マット運動で、首跳ね起きの技の練習の際、勢いがついてマットから外れ、床に顔面から転倒して負傷した。
事例 18	中 3 年・男	体育の授業中、ソフトボールをしていた際、バッターが打った後に、投げたバットが口に当たった。
事例 19	中 3 年・男	体育の授業でソフトボールの試合中、本生徒がバッターの後ろで打順を待っていたところ、バッターがボールを打った後、誤ってバットを放してしまい、そのバットが本生徒の口に当たった。
事例 20	中 2 年・男	体育の授業中、ウォーミングアップのランニングの際、他の生徒と足がからまり転倒した。口を打って負傷した。
事例 21	中 3 年・女	中学の時、体育会に向けての百足競争の練習中、本生徒が先頭になって練習をしていたが、何人かの足が合わなくなった際、ロープが引っ張られ顔面を地面に打ちつけ口付近を強打した。



		災害発生の状況
事例 22	中 2 年・男	掃除中、同じ清掃グループの生徒の肩に手をかけて、声かけしたところ、相手の生徒が手で振り払ったため、相手の右肘が本生徒の下顎に当たった。最初、痛みが引いたため、医療機関に受診しなかったが、後日、歯根の破折及び脱臼が発見された。
事例 23	中 2 年・女	学級活動で使用する机といすを移動させる途中、机にいすをのせて階段を降りていた際、机の脚が階段にぶつかった。その時、いすが滑って本生徒の顔面に当たった。
事例 24	中 3 年・男	アイススケート滑走中、バランスを崩して転倒し、顔面を氷上につけ、歯を折り、歯ぐきを負傷した。
事例 25	中 2 年・男	スキー教室受講中、転倒し、自分のストックのグリップ部が前歯に当たった。
事例 26	中 1 年・男	陸上部の合宿中、部活動の休養時間にプールでプールスライダー等で遊んでいた。プールサイドで他の生徒が転び、その跳ね上がった足が、本生徒の顔面を直撃した。
事例 27	中 1 年・男	テニスの練習中、他の生徒の振ったラケットが歯を直撃した。
事例 28	中 2 年・男	野球部活動中、素振りの練習を始めた際、他から転がってきたボールを捕ろうとして前かがみになったところ、隣で素振りをしていた同級生のバットが顔面を直撃した。
事例 29	中 3 年・男	野球部の練習中、全員でトスバッティングをしていた。本生徒がボールを投げた瞬間、隣でトスバッティングをしていた組の打球が飛んできた。隣の組の打球なので、よけることもできず、顔にボールが当たり、前歯を負傷した。
事例 30	中 2 年・女	バレーボールの部活動中、チャンスボールをカットしようとして、前方へ出た際、チームメイトの足にひっかかりバランスを失い、顔面から床に転倒し、歯を打った。
事例 31	中 1 年・男	バスケットボールの部活動中、他の生徒とプレーに関して口論となり、顔を殴られ、歯が折れた。
事例 32	中 1 年・女	バスケットボールの練習試合中、攻撃から守りに替わった際、同チームの選手とぶつかり、相手の頭で前歯を強打した。
事例 33	中 3 年・男	バスケットボール部活動中、練習試合の際、相手選手がシュートを打とうとして振り向いた時、相手の肘が前歯に直撃した。
事例 34	中 1 年・男	顧問不在のまま、部活動中（学校外周の道路でランニングなど）をしていた。1, 2 年生が胴上げを始め、本生徒が胴上げされた際、下の生徒が受け止められず、うつ伏せ状態で顔からアスファルトに落ち、前歯及び顔面を負傷した。
事例 35	中 1 年・男	温水プール内のウォータースライダーで滑っていた際に、バランスを崩して、顔をぶつけ、前歯を 2 本負傷した。
事例 36	中 2 年・男	休憩時間中、集会が始まるまで友達と追いかけて遊んでいた。本生徒が捕まり、しゃがみこんで友達とじゃれあっていた。それに気付かなかった別の生徒が走りこんできて、バランスを崩し転倒。その時友達の踵が本生徒の前歯に当たり負傷した。
事例 37	中 1 年・男	昼食時休憩時間中、ある生徒とトラブルになった際、別の生徒が本生徒の首の後ろをつかみ、床めがけて投げたため、机・いすに前歯が当たった。
事例 38	中 2 年・男	昼食時休憩時間中、鬼ごっこをしていて、急いで階段を駆け上がろうとした際、滑って転倒し、顔面を階段に強打した。
事例 39	中 3 年・男	昼食時休憩時間中、友達と悪ふざけをしていて、友達の膝が下顎に当たり、上顎を突き上げた状態になった。
事例 40	中 3 年・男	授業終了後、一緒に下校する他の生徒を待っていた本生徒は、外で雨が降り始め、教室に傘を置いたままであることに気がついた。3 階の教室に傘を取りに戻ったが、鍵がかかっていたため、隣の教室の窓づたいに入ろうとした際、バランスを崩して、3 階の教室の窓から転落してしまった。腰と顎を骨折してしまった。
事例 41	高 3 年・男	体育の授業中、サッカーのゲームをしていた際、相手の蹴ったボールが顔面に当たり、歯が折れた。
事例 42	高 3 年・男	体育の授業中、テニスをしていて、サッカーを選択している他生徒が「人数が足りないのでサッカーをしてほしい」と言ってきて、話し合いをしていて口論となり、顔を蹴られた。
事例 43	高 2 年・男	体育の授業中、ソフトボールの試合の際、本生徒は打者として次の順番を待つため、バッテリーボックスから 3～4 m 離れた場所（キャッチャー側後方）で待機していた。その時、バッテリーボックスに立っていた打者が、空振りし、その勢いでバットを投げてしまい、後方にいた本生徒の口元に直撃した。
事例 44	高 1 年・男	バスケットボールの授業中、ルーズボールを追いかけて味方同士で衝突した際、その反動で床に顔面を強打し、前歯を破折した。
事例 45	高 2 年・男	体育の授業中、バスケットボールの試合をしている際、パスを受ける時に相手と接触して、相手の肘が口に当たり、前歯と唇を深く負傷した。





		災害発生の状況
事例 46	高1年・男	文化祭での合唱の練習をクラスごとで行っていた際、ひな壇に立って歌い終わったとき、貧血をを起こして倒れる。
事例 47	高3年・男	文化祭の準備中に友達とふざけていて、昇降口付近にある自動販売機に接触し、顔面を強打した。
事例 48	高2年・男	スキー教室で、転倒した際、本生徒の前で転倒した生徒のスキーブーツに歯をぶつけた。
事例 49	高3年・女	球技大会で、クラスのソフトボールの応援中、打者の振ったバットが汗で抜けた際、応援していた本生徒の歯にグリップが当たり負傷した。
事例 50	高4年・男	体育館でバスケットの練習をしていた。シュートしようとした際に、他の生徒の肘が顔に当たった。そのときに前歯が損傷した。
事例 51	高1年・男	サッカーの部活動中、足を滑らせて転倒し、手と顔を地面に強く打ちつけた。
事例 52	高1年・男	サッカー部の試合中、本生徒がゴールキーパーをしていて、相手のドリブルをセービングしようとした際、相手が倒れこみ、相手の膝が本生徒の顔面に激突した。
事例 53	高1年・男	サッカー部活動中、試合の際、シュートを打ったときに相手ゴールキーパーと衝突し、相手の頭部が顔面に当たり、前歯を強打した。
事例 54	高2年・男	サッカーの部活動中、ドリブルをしながら攻め込んでいるとき、ディフェンスの選手の肘が顔面に当たり、前歯を破折した。
事例 55	高2年・男	サッカー部活動中、相手と接触し、相手の肘が本生徒の下の歯に当たった。
事例 56	高2年・女	ソフトボールの部活動中、他校で練習試合の際、口にデッドボールをあびて、前歯を負傷した。
事例 57	高1年・男	野球部の練習中、監督が打ったノックボールを受けようとした際、イレギュラーしたボールが口に強く当たり、上の前歯4本と上唇を切傷した。
事例 58	高1年・男	野球部活動中、外野を守備の際、イレギュラーしたボールが下顎に強打した。下唇が切れ、歯のぐらつきが見られた。
事例 59	高1年・男	試合形式の練習中、飛んできた打球を捕球しようとした際、打球のパウンドの判断を誤り、打球が下顎に当たり下顎切歯3本が抜け落ちた。
事例 60	高1年・男	野球部の練習中、フライをキャッチしようとしてつまずき、上半身が前のめりになった際、硬球が上唇に当たり、負傷した。
事例 61	高1年・男	グラウンドの端の方でノック練習をしていた。本生徒は返球されたボールをコーチに渡す役をしていた。ノックを受けていた他の生徒がエラーをしたので、すぐに返球がないものと思い、コーチの方を向いていたとき、危ないという声に、正面を向いたところ、返球されたボールが、顔面に当たった。唇が切れ、前歯が曲がった。
事例 62	高2年・男	体育館内で野球部の練習中、サードからの送球をファーストでキャッチしようとして、グローブで構えたがボールがややそれて、顔面に直撃してしまい歯を負傷した。
事例 63	高2年・男	野球部の活動中、運動場で守備練習をしていた際、打球がイレギュラーバウンドしたため、顔にボールが当たった。
事例 64	高2年・男	野球部のフリーバッティングの練習中、本生徒がピッチャーをしていた際、顔面にボールが当たった。
事例 65	高2年・男	野球の守備練習中、ノックでイレギュラーバウンドしたボールが顔面に当たった際、前歯を負傷した。
事例 66	高3年・男	野球部の練習でキャッチボールをしている時、本生徒が横を向いた時にボールが飛んできて口にボールが当たり、唇の裂傷と前歯の脱臼を負った。
事例 67	高3年・男	野球部の活動中、バウンドしたボールを捕ろうとして失敗し、ボールが前歯に当たり、破折した。
事例 68	高3年・男	硬式野球部活動中、外野ノックの3塁へボールを返球する練習をしていた。本生徒は前日の試合で頭部に死球を受けたため、本生徒の希望でノッカーやボール渡しの手伝いに徹していた。この時もファールグラウンド、三本間の本塁側でボール渡しを行っていたところ、外野手が3塁へ暴投し、本生徒が振り向いたところに口に直撃し、衝撃で倒れた。
事例 69	高3年・男	野球部活動中、ノック練習をしている際、フライボールの捕球に失敗し、野球ボールが口に当たった。
事例 70	高3年・男	野球部活動中、ランナー付きノックの練習でランナーの役割をしていた際、守備についていた部員の送球が悪かったため、野球ボールが顔面に当たった。
事例 71	高3年・男	野球部活動中、ノックを受けていたところ、打球がイレギュラーバウンドしたため対応することができず、ボールが顔面に当たり前歯を破折した。



		災害発生の状況
事例 72	高3年・男	野球部の練習中、ノックを受けている際、イレギュラーしたボールが前歯部に強く当たった。
事例 73	高1年・女	バレーボールの部活動中、サーブレシーブ練習の際、前のポジションの人とぶつかりそうになり、よけた瞬間バランスを崩し、転倒し、口を強く床に打ちつけた。
事例 74	高1年・女	バレーボールの試合中、レシーブで手を伸ばして滑り込んだ際、歯が床にぶつかり前歯を破折した。
事例 75	高1年・男	バスケットの公式試合中、相手選手の肘が顔面を直撃した際、前歯2本が折れ上唇も裂傷した。
事例 76	高2年・男	バスケットボール部活動の試合中、ボールが転がった際、本生徒と同時にもう一人も飛びかかりボールをつかもうとした。本生徒の身体の上にもう一人が乗りかかり、その時の衝撃で前歯を床に打ちつけた。
事例 77	高2年・男	部活動でゲーム中、他の選手の肩と本生徒の口が強く当たった際、歯を負傷した。
事例 78	高2年・女	バスケットボールの部活動で、他県に遠征試合に出かけた際、試合中に相手チームの選手が頭から顔面にぶつかってきた。
事例 79	高3年・男	バスケットボール部活動の試合中、ドリブルで突破してくる相手選手を止めようとコースに体を張って入ったところ、相手選手の額が顔にぶつかった。
事例 80	高3年・男	バスケットボール部の試合中、相手選手と接触して体勢を崩した際、前歯を床に強打した。
事例 81	高3年・男	ラグビー部の春合宿の遠征中、練習試合の際、相手選手にタックルしたら、相手の肘が顎に当たり、歯が折れ下部口唇に刺さった。
事例 82	高3年・男	ラグビー部活動の練習中、相手生徒の頭と本生徒の顔面がぶつかり前歯が折れた。
事例 83	高1年・女	ホッケー部の練習中、相手とボールを奪い合っていた際、誤って相手のスティックが前歯に強く当たり負傷した。
事例 84	高2年・男	ホッケーの試合中、シュートボールが顔に当たった際、歯が2本折れ、シュート後のスティックが口の横に当たり、口の横を切った。
事例 85	高3年・女	ホッケー部で練習試合をしていた際、相手チームの選手がボールを打つ瞬間に本生徒がスティックを出したところ、ボールが跳ね上がり、本生徒の顔を直撃した。口唇部分に当たり、歯等を怪我した。
事例 86	高1年・女	柔道の練習試合中、うしろ襟をとりにいった際、相手選手の頭部と顔面がぶつかり、前歯を強打した。
事例 87	高1年・男	自転車競技の練習中、5グループで周回練習を行っていた。前のグループを右側から抜きにかかったところ、前の組が先頭交代のため右側によってきて、前のグループの選手の後輪が接触し転倒した。前歯を打ってしまった。
事例 88	高2年・男	休憩時間中に次の教室に移動する際、階段を踏み外し転倒した。顔面（歯）及び全身を強打した。
事例 89	高3年・男	休憩時間中、友達と柔道の真似事をしていたところ、相手に足技をかけられてうつ伏せになって外そうとした際、足が外れてしまい床に顔面を強打し、唇と歯肉から出血して、前歯が欠けグラグラした。
事例 90	高2年・男	昼食時休憩時間中、実験室の大きなテーブルの間に両手を立てかけて、体を前後に振って遊んでいた際、手がつれて前へ倒れ、顔面を床に強打した。
事例 91	高1年・男	下校のため校門へ向かって自転車で走行中、後ろから追いついてきた友達が急接近してきたため、友達の自転車のハンドル横にかけてあった傘の先が本生徒の自転車の前輪に食い込んで、急ブレーキがかかった状態になり、前方へ転倒し、顔面を強打した。
事例 92	高2年・男	下校前、HR 教室からスクールバス乗り場に移動する際、前に友達を見つけ、名前を呼び、駆け寄ろうとするが、気持ちだけが前にいって足がついていかず、その場に膝立ちのように膝をつきながら倒れ、その上で上体が前のめりに倒れた。そのとき、顔を廊下につけ、その衝撃で前歯が完全に抜けた。
事例 93	高2年・男	登校しようと、自宅マンションの階段を下りていた際、1階部分の8段目で階段の滑り止めに足が引っかかり転倒し、顔面を強打した。
事例 94	高1年・男	自転車で登校中、遅刻をしてしまい大変急いでいたため、ペダルに足がはさまり転倒し、前歯を強打した。
事例 95	高1年・男	自転車で登校中、道路の窪みにバランスを崩し、誤って右足の靴が前輪にひっかかり、急ブレーキがかかった状態になり前方へ転倒し、顔面を強打した。



		災害発生の状況
事例 96	高1年・男	自転車で登校中、自転車の車輪にスニーカーの紐が絡まった際、転倒し顔面を道路に打ちつけ、前歯・鼻・上唇を負傷する。
事例 97	高1年・女	自転車で登校中、坂道でスピードが出たため、自転車のハンドル操作ができず、電柱にぶつかった。
事例 98	高1年・女	自転車で登校中、気分不良からバランスを失い転倒した際、アスファルトに顔を強打した。
事例 99	高3年・女	自転車で登校中、ブレーキをかけたところ、前輪だけにかかり、前につんのめるかたちとなり、前方に、体が飛んで、地面に顎を打ち、前歯が折れて、顎が切れてしまう。
事例 100	高3年・女	自転車で登校中、道路左側を走行していた。路上の石に車輪を乗り上げ、前方に転倒し顔を強打した。
事例 101	高1年・男	放課後の補習を終え自転車で下校中、下り坂を走行中に前方がはっきり見えず、自転車と共に溝に落ちて、口元を強打した。
事例 102	高1年・男	通常の経路を自転車で下校中、道路の段差にハンドルをとられ、バランスを崩して転落し、前歯を強打した。
事例 103	高1年・男	自転車で下校中、下り坂でスピードを出し過ぎて工事中の看板に衝突した際、前歯を負傷した。
事例 104	高2年・女	自転車で下校中、坂を上がろうとしてバランスを崩した際、歩道のガードレールにぶつかり転倒。顔をコンクリートにぶつけ前歯2本が折れ、一本が抜けてしまった。
事例 105	高3年・男	自転車で下校中、前かがみの体勢でペダルを踏み外した際、前のめりに転倒して路面で顔を打った。
事例 106	高3年・女	自転車で下校中、坂で滑り転倒した際、ハンドルをつかんでいたため、倒れるときに手でかばうことができず、歯を強打した。

